

# 第 1 回足立区基本構想審議会会議録

日 時 平成 27 年 7 月 27 日（月曜日） 午前 10 時から 11 時 30 分

場 所 足立区役所中央館 8 階特別会議室

出席者 近藤やよい区長

足立区基本構想審議会委員（36 名）

牛山久仁彦会長、田中充副会長、石阪督規委員、田中隆一委員、有馬康二委員、足立義夫委員、乾雅榮委員、吉田修一委員、小久保兼保委員、野辺陽子委員、河本孝美委員、小林雅行委員、田中忠穂委員、近藤勝委員、鈴木健文委員、石橋穠治委員、大塚和夫委員、北川千恵子委員、志自岐亜都子委員、白根澤正士委員、長谷川浩一委員、早木美恵委員、益留有紀委員、鴨下稔委員、吉岡茂委員、渡辺ひであき委員、馬場信男委員、ただ太郎委員、たがた直昭委員、長井まさのり委員、岡安たかし委員、くぼた美幸委員、ぬかが和子委員、鈴木けんいち委員、おぐら修平委員、定野司委員  
事務局 政策経営部長、政策経営課長、基本構想担当課長、経営戦略推進担当課長、基本構想担当係長、(株)地域計画連合

- 議題等
- |     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 第一部 | 1 足立区基本構想審議会委員委嘱            |
|     | 2 足立区基本構想審議会 会長・副会長選出       |
|     | 3 諮問                        |
|     | 4 区長挨拶                      |
| 第二部 | 1 委員自己紹介                    |
|     | 2 足立区基本構想審議会の運営について         |
|     | 3 足立区基本構想策定のための検討素材について(説明) |
|     | 4 意見交換(区の実績の成果等)            |
|     | 5 事務連絡                      |

- 資 料
- 【資料 1】 足立区基本構想審議会委員名簿
  - 【資料 2】 足立区基本構想審議会条例
  - 【資料 3】 足立区基本構想審議会条例施行規則
  - 【資料 4】 専門部会の設置
  - 【資料 5】 新基本構想の概要
  - 【資料 6】 足立区基本構想審議会スケジュール
  - 【資料 7】 足立区基本構想策定のための検討素材【概要版】
  - 【資料 8】 足立区基本構想策定のための検討素材
  - 【映像資料】
  - 【足立区基本構想策定のための検討素材に対する意見書】
  - 《参 考》・ 足立区基本構想（平成 16 年 10 月策定）
  - ・ 足立区基本計画（平成 21 年度～平成 28 年度）

午前 10 時 00 分 開会

## ○第 1 部

基本構想担当課長：大変長らくお待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまより第 1 回足立区基本構想審議会を開催させていただきます。本日はお忙しいところ、またお暑い中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は、政策経営部基本構想担当課長の基本構想担当と申します。お手元の次第にあります通り、本日は第 1 部と第 2 部の構成となっておりますが、第 1 部の司会進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。なお本審議会は条例で公開を原則としており、会議記録はホームページ等で公開させていただきます。それから、会議記録を正確に作成するため、皆様のご発言を録音させていただいております。また、受付でもお伝えしましたが、取材の方も含めて写真撮影させていただくことがあります。ご了承ください。

### 1. 足立区基本構想審議会委員委嘱

基本構想担当課長：それでは、次第に沿って進めさせていただきます。初めに、委嘱式を行いたいと存じます。本来ですとお一人ずつ委嘱状をお渡しするところですが、時間の都合もありますので、私がお一人ずつお名前をお呼びいたします。大変恐れ入りますがその場でご起立いただき、一礼の上、ご着席をお願いします。委員全員の方をご紹介した後、代表の方に区長より委嘱状をお渡しいたします。代表以外の委員の皆様には、席上配布とさせていただきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。それでは、次第の次のページにあります資料 1 の名簿の順番でお名前をお呼びいたします。まず、学識者委員の皆様のご紹介です。牛山久仁彦様、田中充様、村上祐介様は、本日ご都合によりご欠席です。石阪督規様、田中隆一様。続きまして、区内関係団体委員の皆様です。有馬康二様、足立義夫様。須藤秀明様はまだお見えではありません。乾雅榮様、吉田修一様、小久保兼保様、野辺陽子様、河本孝美様、小林雅行様、田中忠穂様、近藤勝様、鈴木健文様。続きまして、公募委員の皆様です。石橋禮治様、大塚和夫様、北川千恵子様、志自岐亜都子様、白根澤正士様、長谷川浩一様、早木美恵様、益留有紀様。続きまして、区議会議員の皆様です。鴨下稔様、吉岡茂様、渡辺ひであき様、馬場信男様、ただ太郎様、たがた直昭様、長井まさのり様、岡安たかし様、くぼた美幸様、ぬかが和子様、鈴木けんいち様、おぐら修平様。最後に、区職員です。石川義夫副区長は都合により欠席しております。定野司教育長です。以上、39名の委員の皆様を代表しまして、足立区町会・自治会連合会会長でいらっしゃいます有馬康二様に委嘱状をお渡しいたします。有馬会長、区長、よろしくお願いいたします。

区長：委嘱状、有馬康二様、足立区基本構想審議会員を委嘱します。平成 27 年 7 月 27 日、足立区長近藤やよい。よろしくお願いいたします。

## 2. 足立区基本構想審議会 会長・副会長選出

基本構想担当課長：ありがとうございました。続きまして、本審議会の会長および副会長の選出についてです。足立区基本構想審議会条例に基づき、委員の互選により定めることとなりますが、まず、会長の選出についてはいかがいたしましょうか。

有馬委員：会長は牛山委員にお願いしたいと思います。

基本構想担当課長：ありがとうございます。ただいま学識者委員の牛山氏とのお声がありましたが、牛山久仁彦氏は明治大学政治経済学部教授でいらっしゃいまして、これまでも数々の自治体における基本構想等の審議会に関わるなどご経験も豊富でございます。会長としてご異存がないようでしたら、拍手でご承認をお願いいたします。

(拍手)

基本構想担当課長：ありがとうございました。それでは、牛山久仁彦氏に会長をお願いしたいと存じます。続きまして、副会長についてはいかがいたしましょうか。

有馬委員：田中充委員にお願いしたいと思います。

基本構想担当課長：ありがとうございます。ただいま学識者委員の田中充氏の声がありましたが、田中充氏は法政大学社会学部長でいらっしゃいまして、足立区環境審議会の会長もお務めいただいております。副会長としてご異存がないようでしたら、拍手でご承認をお願いいたします。

(拍手)

基本構想担当課長：ありがとうございました。それでは、田中充氏に副会長をお願いしたいと存じます。

## 3. 諮問

基本構想担当課長：続きまして、区長より本審議会に新たな基本構想についての諮問をいたします。牛山会長、区長、よろしくお願いいたします。

区長：諮問、足立区基本構想を策定するにあたり、下記の事項について諮問します。

1、新たな足立区基本構想について。平成27年7月27日、足立区基本構想審議会会長様。足立区長、近藤やよい。

#### 4. 区長あいさつ

基本構想担当課長：それでは区長よりごあいさつ申し上げます。

区長：お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいま足立区の新しい基本構想策定についての諮問をさせていただきました。39名の委員の皆様方に来年の2月をめどに策定に入っていただくわけですが、全体会が7回、分科会がそれぞれで3回ということですので、お一人の委員の方にこれから10回の審議を経てくださいということになってまいります。大変お忙しい方ばかりではございますが、これからの新たな足立区の10年の方向性を決める非常に重要な構想・方針でございますので、ぜひ忌憚のない活発なご意見をいただき、まとめていただくことをご期待申し上げます。ご承知の通り、現在あります基本構想ですが、協働で築く力強い足立区の実現ということで、キーワードは協働でございました。これは新しい構想で消えてなくなるわけではございませんが、これまでの10年を一つの基盤として、その上にどのような足立区を作っていくのかという、この協働に続く新しいキーワード。足立区を牽引出来るだけの力のあるキーワードをぜひ皆さん方にご提案いただければと思います。足立区は今大きな二つの変化に囲まれています。一つはまちづくり。いい意味での変化がございます。そしてもう一つは、平成11年から急激にほぼ1年ずつ倍々で増えてまいりました高齢化率。23区の中でも2番目という高さでございます。既に4人に1人が高齢者という状況の中で、これから少子高齢社会をどのように乗り切っていくのか。これはそれぞれの自治体、薄い濃いはあるけれども同じような課題を抱えているということでは、日本全国差がないのかもしれませんが、新たな意味で自治体から日本に対して、全国に対して新しい自治体運営、そしてこれを取り切っていく課題の解決方法について発信出来るようなそんな構想になればと思っております。それぞれのお立場のご経験を十二分に踏まえていただきまして、内容の濃い構想が出来上がることをご期待申し上げて、一言ごあいさつとさせていただきます。なにとぞよろしくお願いいたします。

基本構想担当課長：区長は他の公務のため、申し訳ありませんが退席させていただきます。それでは、第1部を終了させていただきます。ここで、第2部に入ります前に配布資料の有無を確認させていただきたいと存じます。まず資料1、委員名簿です。資料2、基本構想審議会条例について、裏面もあります。資料3、基本構想審議会条例施行規則について、こちらも裏面もあります。資料4、専門部会の設置について。資料5、新基本構想の概要についてです。資料6、審議会のスケジュールについて。資料7はA3版になっています。足立区基本構想策定のための検討素材の概要版です。カラーになっております。資料8は冊子になっています。足立区基本構想策定のための検討素材でございます。そして、資料番号はありませんが映像資料と書かれたものです。これは、後ほど画面に映し出して説明する映像を、紙にも印刷したものです。カラーになっております。次に、同じく資料番号はありませんが、足立区基本構想策

定のための検討素材に対する意見書と書かれたものです。それから、委員の皆様には参考といたしまして、現在の足立区基本構想と足立区基本計画をご用意させていただきました。なお、基本構想につきましては当時の在庫がもうなくなりまして、コピーしたものでご容赦のほどお願いしたいと存じます。以上ですが、不足はございませんでしょうか。続いて、席上のマイクについてお願いがございます。ご発言をしていたく際は、お手数ですがお手元のマイクのボタンを押していただき、最初にお名前をおっしゃってください。お名前は会議記録の作成に必要なためです。ご発言が終わりましたら再度ボタンを押していただきますようお願いいたします。ここからは、牛山会長に進行をお願いしたいと存じます。

## ○第2部

### 1. 委員自己紹介

会長：それでは、基本構想審議会の第2部に進みます。皆様改めまして、本審議会の会長を拝命しました牛山でございます。よろしくお願いします。この会場には先生方を始め、あるいは地域の皆様、議員の先生方、本当に地域のことに詳しいたくさんの方がいらっしゃるかと思います。私は大学で地方自治を研究しておりまして、そういった意味で全体的な観点から皆様にたくさんのご意見をいただきながらそれを整理していく、そういったお役目を拝命したとっておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。先ほど区長から、協働の次に進むという非常に大きな宿題をいただいたわけですが、これまで私も、東京都、それから区市町村の自治のあり方研究会でありますとか、あるいは各区のさまざまな施策に関わらせていただきましたが、東京といえども本当に厳しい状況で、人口減少・少子高齢化に向き合っていかなければならないと思っております。しかし一方で、区長の話にもありましたように、後ろ向きでばかりあってもならず、この足立区を元気でそして活力のある自治体にして発展させていくために、長期的なビジョンに立って今後の10年、20年、そして30年、50年と続いていく足立区をどうしていったらいいか、皆様と議論をさせていただきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。それでは本日は初回ということもありまして、ここで皆さんから資料1の名簿順で自己紹介をしていただこうと思っております。この後意見交換の時間もありますので、大変恐縮ですが手短かに一言ずつお願い出来れば幸いです。では、田中副会長の方から順に、よろしくお願いします。

田中充委員：どうも皆様おはようございます。田中充と申します。現在法政大学社会学部で私は環境政策を専門にしております。足立区の環境審議会にもお世話になっておりまして、5年ほどでしょうか。いろいろご指導をいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

会長：それでは名簿順に石坂委員、お願いします。

石阪委員：東京未来大学からまいりました石阪です。地元の大学ということもありますので、足立区とはいろいろな形で一緒にさせてもらっているのですが、現在は区民評価委員会であったり、あとは男女共同参画の推進委員会、こちらの方でもお世話になっております。よろしくお願いいたします。

田中隆一委員：東京大学社会科学研究所からまいりました田中隆一と申します。私の専門は経済学をやっております。足立区では重点プロジェクトで区民評価委員会の子ども分科会の分科会長も務めさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

有馬委員：おはようございます。町会・自治会連合会の有馬でございます。日頃は町会・自治会の事業につきまして何かとお世話をいただいております。これからもよろしくお願いいたします。

足立委員：私は足立区商店街振興組合連合会の代表をしております足立義夫と申します。先週7月11日にはスーパープレミアム商品券でいろいろ皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

乾委員：足立区女性団体連合会の乾と申します。よろしくお願いいたします。私どもは男女共同参画社会、作るのは私たちというテーマで活動しております。よろしくお願いいたします。

吉田委員：西新井防犯協会の会長をしております吉田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

小久保委員：足立区障害者団体連合会の小久保と申します。団体連合会と言うと、私たちの団体は8団体ありまして、視力とか聴力とかそういった関係で8団体を束ねている形になって、私は会長を承っております。よろしくお願いいたします。

野辺委員：足立区民生・児童委員協議会の野辺と申します。実は少年団体連合協会の方もやっておりますので、専門部会は子どもということでぴったりだなと思っております。よろしくお願いいたします。

河本委員：小学校PTA連合会の副会長を務めております河本と申します。いつも足立の子どもたちのためにご理解・ご協力をいただきありがとうございます。微力ですが精いっぱい務めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

小林委員：中学校PTA連合会副会長の小林でございます。自分は第一中学校のPTA会長をしております。よろしくお願いいたします。

田中忠穂委員：東京スマイル農業協同組合の副組合長をやっている田中と申します。この足立区の施策には農業委員会とか、それから都市計画審議会、観光交流協会などいくつかの委員もやらせていただいておりますが、出来るだけ区民の立場として施策に協力したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

近藤委員：東京商工会議所足立支部の副会長を務めております近藤と申します。数年アベノミクスで大企業等はだいぶ活性化してきているようですが、中小企業においてはまだまだという状況が続いております。やはり足立区内でも中小企業が活性化していかないと町も明るくならないのではないかという気がしております。よろしくお願いいたします。

鈴木健文委員：連合東京の東部ブロック協議会からまいりました、足立地区の副議長をやっております鈴木と申します。こういう機会は初めてですので、いろいろな意味で勉強していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

石橋委員：公募委員の石橋と申します。私は十数年前に建設会社をリタイアしています。区との関わりに関して言いますと、平成19年から23年まで行政の評価の区民委員を5年間やらせてもらっています。どうぞよろしくお願いいたします。

大塚委員：公募委員の大塚です。私は宮城という足立区ではちょっと特殊なところに住んでおります。そういうものも含めまして、足立区のあり方を考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

北川委員：公募委員の北川と申します。よろしくお願いいたします。現業は薬剤師という立場で、ジェネリックの使用促進ですとか、あとは現在区内にいくつかある大学との積極的提携を提案して、今回委員として選出されました。よろしくお願いいたします。

志自岐委員：公募委員の志自岐亜都子と申します。私は女性が暮らしやすい社会ということをテーマにして、こちら基本構想の委員となりました。よろしくお願いいたします。

白根澤委員：公募委員の白根澤と申します。よろしくお願いいたします。私は以前、専門学校の方で福祉系で地方自治を担当しておりました。学生諸君からいろいろとやはり問題提起などもいただきまして、今回こういう形でお世話になりたいと思っております。

す。よろしくお願いいたします。

長谷川委員：公募委員の長谷川浩一と申します。45年間足立区に住んでおりまして、足立区の下町としての良さを大いに発揮出来るまちづくり等に貢献出来たらと思います。よろしくお願いいたします。

早木委員：公募委員の早木と申します。よろしくお願いいたします。私は2011年に品川区から足立区に引っ越してまいりました。とても住みよい町だと思っているのですが、世間とのギャップがあるのはなぜだろうというのが私の疑問で、それが私の根源にあって今回応募いたしました。私は若い頃から教育に携わっていたので、今は専業主婦ですが、専門委員は子ども部会ということになったので、私にはぴったりかなと思っています。微力ながら頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

益留委員：東京未来大学モチベーション行動科学部の益留有紀です。学生の立場を生かして会をより良いものにしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

鴨下委員：区議会議員の自民党の鴨下稔でございます。今、党内で政調会に所属しています。よろしくお願いいたします。

吉岡委員：おはようございます。私も区議会自民党の現在幹事長を務めさせていただいております。私は六町在住でして、六町は現在区画整理のまっただ中で、大変まちづくりについて重要な立場にいると思います。六町のみならず足立区の今後のまちづくりについて、しっかりと皆さんと共に検討してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

渡辺委員：自民党に所属しております渡辺ひであきと申します。子ども部会に参加をさせていただきますが、これまでの経験を生かして未来を担う足立区の子どものために精いっぱい尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

馬場委員：区議会議員の私も所属会派は自民党の馬場信男でございます。議員になって13年目になります。その間文教委員会・厚生委員会の所属が結構ありました。学校教育、そして足立区内のさまざまな福祉、区民の健康について大きく議論してきました。この度はくらし専門部会で今までに議論した内容を反映出来るように努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

ただ委員：区議会自民党のただ太郎と申します。2期目の区議会議員でございます。基本構想ということで若手の意見・考えをしっかりと反映させながら、新しい基本構



想策定に向けて微力ではございますが取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

たがた委員：区議会公明党の団長をしておりますたがたと申します。私も議員生活13年目ですが、これまでの経験を生かしてしっかりと頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

長井委員：おはようございます。区議会公明党幹事長の長井まさのりと申します。現在、産業環境委員会の委員長も務めております。地元花畑、また六町地域のまちづくり、新たな文教大学、6大学目が決定しておりますので、また皆様と力を合わせて取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

岡安委員：区議会公明党の岡安たかしでございます。3期目です。前職が建設関係ということもありまして、都市整備やまちづくり、また2人の小学生の子どもを持つ親として、子ども施策の充実に力を入れているところでございます。現在公明党の中で政務調査会長という大任を拝命させていただいております。皆さんと一緒にしっかりと基本構想を練り上げていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

くぼた委員：区議会公明党に所属しておりますくぼた美幸と申します。現在は党内で副幹事長を務めております。また委員会では、現在区民委員会委員長も仰せつかっておりますので、こういった経験を踏まえながら皆さんと共に新しい足立区を目指して頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ぬかが委員：日本共産党足立区議団の団長をしておりますぬかが和子です。区議は7期目になります。ずっと財産価格審議会とか、また行財政改革、公有地などに関わる分野を担って来ておりましたので、今回も経営改革という専門部会の方でお世話になることになりました。本当に区民一人ひとりが輝けるような、そういう将来像を描けたらいいなと。それを一緒に作り上げていけたらいいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

鈴木けんいち委員：区議会議員の鈴木けんいちです。党内では幹事長を務めさせていただいております。議会では文教委員を担当して、主に子どもの分野で幼児教育から小学校・中学校教育を担当しているところですので、子ども専門部会ということで頑張りたいと思います。ちょうど前回の基本構想の策定にも関わってきた経緯もありますが、更により良い足立区にするために大いに議論を深めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

おぐら委員：区議会民主党で幹事長を仰せつかっておりますおぐら修平でございます。住まいは新田で、新田の町というのはハートアイランド、約3,000戸の大型マンション開発で人口増で町が日々様変わりしているような状況です。そうしたことで新たなまちづくり、足立区全体を見ますと、本当に地域によっていろいろな状況はさまざまです。こうした地域の現場の声や、またこれだけ多くの各関係団体の方、また公募委員の皆さん、また各議員それぞれの立場、それぞれの状況、議論を踏まえながら実りある審議会に出来ればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

定野委員：おはようございます。4月1日に教育長に就任しました定野と申します。それまでは区の職員として36年勤めておりました。災害対策、あるいは財政・環境・総務などにおりました。今教育委員会は保育行政、それから小中、そして高校1年生の中退対策なども務めておまして、あだちU16教育プログラムということで、子どもの貧困対策にも力を入れていきたいと考えております。皆様と一緒に新しい基本構想の中で、子どもたちの成長を見守りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

会長：どうも皆様ありがとうございました。ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

## 2. 足立区基本構想審議会の運営について

会長：それでは早速ですが、次第にございます2番。足立区基本構想審議会の運営につきまして、事務局より説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

基本構想担当課長：事務局より次第の2（1）について資料を元に説明させていただきます。資料2をご覧ください。資料2、足立区基本構想審議会条例を簡単ではありますが説明させていただきます。第1条は足立区自治基本条例の第12条に基づき、区民との協働により新たな基本構想を策定するため当審議会を設置しますとあります。第2条、審議結果は区長に答申します。第5条になります。審議会の会長・副会長についてです。先ほど選出をいただきました。ありがとうございました。第7条、審議会の定足数は委員の半数以上となっております。第8条、審議会は公開です。次に、資料3をご覧ください。足立区基本構想条例施行規則をご覧ください。第2条、委員の構成等についてです。第3条、審議の効率化を図るための専門部会についてですが、後ほどご説明をさせていただきたいと存じます。第6条、区職員に対する出席要求についてですが、既にこちらの事務局側に、コンサルタント会社も含め出席させていただいておりますことをご了解いただきたいと思います。第7条は表決の方法についてです。以上です。

会長：ありがとうございました。今のご説明について何かご質問はございますでしょ

うか。

(異議なし、と発言あり)

会長：ありがとうございます。それでは、続きまして（２）の専門部会の設置について審議していただこうかと思います。これについて、事務局に説明をお願いしたいと思います。

基本構想担当課長：事務局から資料４の説明をいたします。資料４をご覧ください。足立区基本構想審議会専門部会の設置についてです。規則第３条に基づく審議の効率化を図り、調査研究を行っていただく専門部会として、子ども・暮らし・まちづくり・経営改革の四つの部会を設け、第３回目の審議会を終えた次の会から３回の予定で開催していただきたいと考えております。各部会の主な関連分野は、子ども専門部会が、子育て支援・学校教育・青少年育成などです。暮らし専門部会が、高齢者福祉・障がい者福祉・健康づくり・絆づくり・生涯学習・産業などです。まちづくり専門部会が、都市計画・交通・景観・緑・環境・防犯・防災などです。経営改革専門部会が、行政運営・財政運営・公共施設管理・シティプロモーションなどです。会長、よろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございました。今事務局から専門部会の設置につきまして、こういった形で進めてはどうかということでご提案がありましたがいかがでしょうか。この専門部会について何かご意見・ご質問はございますでしょうか。

(発言なし)

会長：よろしいでしょうか。それではこれらの専門部会を設置することにして審議を進めていきたいと思います。なお、専門部会ごとの委員の割り振りにつきましては、資料１の名簿に既にございますのでこれをご確認いただければと思います。ご異論がなければ、この名簿を持って指名に代えさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(拍手)

会長：ありがとうございます。それではこういった形で専門部会の審議につきましても、皆様よろしくお願ひしたいと思います。それで続いて３番と４番の議題について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

基本構想担当課長：（３）と（４）について事務局から説明させていただきます。資料

5、新基本構想についてですが、こちらの内容は前方の画面で説明させていただきたいと存じます。ただ画面が見づらい場合は、ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。先ほどご説明したお手元の映像資料と書かれたプリントにも同じものがあります。併せてご覧いただけますようよろしくお願いいたします。こちらに三角形の絵があります。この下2段は、区の業務を進めるさまざまな計画を示しています。例えば、子ども子育て支援事業計画や障がい者福祉計画などもここに含まれます。これらの計画は上の段にある基本構想、つまり足立区の将来像や長期的なビジョンを示したものを実現するために定められております。現在の基本構想が平成28年度までのもののため、平成29年度からの新基本構想はどのようなものであるべきか、委員の皆様にご審議いただきたいと存じます。なお、区が置かれている現状といたしましては、これまでの30年間で急速に高齢化が進展してまいりましたので、高齢者の方が安全・安心に住み続けられる仕組みづくりが必要であることと、それを支えるための担税力のある若年層が足立区を選び定着していただけるような魅力あるまちづくりが必要な状況です。この実現につきましてもご審議に加えていただきたいと存じます。なお、新基本構想の計画期間につきましては、今後10年から30年間で視野に策定していくことを想定しております。次に、資料6をご覧ください。審議会及び専門部会のスケジュールについてです。こちらも前方の画面で説明させていただきます。まず①のところ、本日も含め、全体会の3回目までは現状把握、現在の基本構想の下での成果や課題などをご検討いただきます。そして課題を整理の上、下の②にある専門部会を3回開催し、より議論を深めていただき、それぞれ方向性を整理していただきます。それらを元に、③で再び全体会にて基本理念や将来像をご検討いただきます。そして、④で答申についてまとめていただく予定です。具体的な日程は、恐れ入りますが先ほどのお手元の資料6に記載しております。下の方にあります全体会4回につきましては、現在のところ日程未定ですが、最終の回は来年の2月中を予定しており、この日は区長への答申となっております。以上でございます。ありがとうございました。

会長：ご説明いただきありがとうございました。新基本構想についてということと、それから今後の審議会のスケジュール、進め方等についてご説明をいただきました。何か皆様から今の進め方、あるいは日程等についてご質問等ございますでしょうか。

(発言なし)

会長：よろしいでしょうか。ありがとうございます。

### 3. 足立区基本構想策定のための検討素材について

会長：それでは、次第の3番になります。足立区基本構想策定のための検討素材についてでございます。これは今後の審議を進めていきます上で、区の現状や課題等について参考資料となる基礎的数値や区の取り組みなどについてでございます。これにつき

まして事務局からご説明をお願いしたいと思います。

基本構想担当課長：それでは事務局から、お手元にごさいます資料7及び資料8の検討素材につきまして、牛山会長のお話にもございました通り、今後の審議における参考資料としてご活用していただきたくご用意させていただきました。簡単ではありますが、ご説明させていただきます。まず、資料7をご覧ください。これは、冊子タイプの資料8を抜粋したものとお考えください。A3のもので、A3の左半分が、区を取り巻く大きな変化について抜粋したもので、数値の変化などで示しております。右側半分が、現在の基本構想の下で区が取り組んできた成果や、世論調査による区民意向などを抜粋したものでございます。それでは、これらを再び画面の方で説明させていただきたいと思ひます。見づらい場合はお手元の映像資料と書かれたプリントと併せてご覧ください。まず、区を取り巻く大きな変化のうち人口などについてです。人口は棒グラフで示しております。世帯数は折れ線グラフで示しております。共に増加してきている状況です。次に、区の人口を年齢区分別に構成比・割合でお示ししますと、まず0歳から14歳までの年少人口の構成比は、23区中4位と高いですが率は年々下がっております。人数自体も減少しております。次に、15歳から64歳までの生産年齢人口の構成比も大きく下がっています。構成比で見ると、23区で最下位です。逆に、65歳以上の老年人口の構成比、これは高齢化率と呼びますが、年々高まり、30年前は23区で21位だったものが、現在は北区に次いで2位にまで上昇しました。次は他区の状況です。概ね足立区のように順位が上昇している区の他のものをお示ししています。墨田区のように順位がほぼ横ばいの区、千代田区のように順位が下降している区の3パターンに分かれています。資料8の方には23区全てのグラフを記載しましたので、後ほどご覧いただきたいと存じます。次は、人口構造のグラフです。平成25年度は40歳代あたりが膨らんでいますが、30年後の平成55年度には高齢者が膨らむ一方、若年層が薄くなると予測しています。若年層が増えないことには区の財政運営も厳しくなると言えます。次は、要支援・要介護認定者数の将来推計ですが、このまま高齢化が進めば増加していきますので、対策が必要となってきます。

次は、人口の自然増減です。出生数は緩やかに減少している一方で、死亡数は緩やかに増加しております。次に、足立区の合計特殊出生率ですが、1.36と23区中では高い順位にありますが全国平均を下回ってはいます。ちなみに人口を維持するためには、2.08が必要とも言われております。次は転入・転出の推移です。出生数は減少しても区の人口が増えているのは社会増、つまり転入超過が大きいからです。平成25年度に将来の人口推計を行いました、その時点では転入の超過が縮小してきたため、近いうちに人口減少に転ずると予測しました。しかしながら、その後予測を超える人口増に至りましたので、改めて直近までの実態を分析した上で人口推計を行い、基本構想の審議に活用していただきたいと存じます。なお、今後の審議会の中で、その人口推計の結果はお示しする予定で進めております。続きまして、現在の基

本構想の下で区が取り組んできた成果について、いくつか説明させていただきます。初めに、エリアデザインについてです。エリアデザインは、大規模な土地を活用する上で、その町の魅力を高めることにより民間活力による整備を推進しております。現在七つのエリアがあります。最近では、花畑エリアに文教大学を誘致、江北エリアには東京女子医大病院・東医療センターの移転計画が進んでいます。次は、交通整備ですが、グラフにあります通り公共交通空白地域が30%以上あったものが6%にまで減少しました。次は、残る公共交通空白地域を地図上の白い部分で表したものです。ちょっと分かりにくくて申し訳ないのですが、比較的北側や東側に白い部分がございますが、足立区で6%に減少した空白地域が残っているという状況でございます。次は、ビューティフル・ウィンドウズ運動です。地域の皆様方等にご協力をいただきまして、刑法犯認知件数が大きく減少し、世論調査でも治安が良いというお答えの割合が、悪いを上回ることが出来ました。次は、糖尿病アクションプランによる健康づくりの推進です。区民の健康寿命を延ばすため、若いうちから野菜の摂取量を増やし糖尿病の重症化など防ぐ取り組みを進めてまいりました。しかし、次のグラフにあります通り、毎年国や東京都と比べて2歳短い状況です。23区順位も下位にあります。次のグラフは糖尿病にかかる一人当たりの医療費を、23区や東京都と比較したもので、足立区は医療費が高い状況になっております。このような課題を解決していくため、取り組みを更に進めていく必要があると考えております。次は、小学生の基礎学力についてです。将来を担う子どもたちのための取り組みが少しずつ成果を挙げていますが、今後も力を入れていく必要があると考えております。次は、学校のおいしい給食についてです。子どもたちの健康や学力などの向上にも寄与しておりますが、捨てられる残菜の減少にも成果が出ています。次のグラフでは、平成20年度当初との比較として、残菜量は219トン減少しました。残菜率は半分以下に低下しております。そして食材に換算すると、約8,000万円が捨てられることなく食べてもらえたということになります。次はシティプロモーションについてです。チラシやポスターなどの一つひとつの企画やデザインを向上させ、区のイメージアップを図ってまいりました。これらの取り組みの結果、世論調査では足立区に誇りを持っている区民の割合が上昇してきました。以上のお示しした取り組みは、資料8の検討素材から抜粋したものでございますが、資料8は次回の第2回審議会で詳しく説明させていただきます。恐れ入りますが次回もお持ちいただけますよう、よろしくお願いいたします。先ほど不足していた資料を配らせていただきます。意見書と書かれたものの不足がございまして申し訳ありませんでした。ただいまお配りします。会長、この件も説明させていただきたいと存じますがよろしいでしょうか。

会長：続けてお願いいたします。

基本構想担当課長：ただいまの不足資料ですが、足立区基本構想策定のための検討素材に対する意見書と書かれたものです。こちらをご覧ください。これについてはお願

いとなります。先ほどの資料7、8の検討素材について概要説明をいたしましたが、これを踏まえまして、もしくは後ほどお読みいただいた上で、ご意見やご質問などがありましたらご記入ください。二つありますがどちらかひとつの項目でもかまいません。今後の審議会で活用させていただきます。なお、次回が8月5日ということもあり、取りまとめの関係上、提出いただける方には7月30日までにFAXか、この用紙ではなくともEメールでもかまいませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。提出いただきましたご意見は、第2回審議会の配布資料として、提出者のお名前は出さずにジャンル別に整理します。以上でございます。ありがとうございました。

会長：ありがとうございました。ただいま事務局の方からお願いがございましたが、よろしくお願いいたしますと思います。

#### 4. 意見交換

会長：次第4の意見交換に進みたいと思います。今事務局からいろいろご説明をいただきましたが、本日は諮問、あるいは審議会の運営、検討素材等の件が中心でしたので、本格的な審議につきましては次回進めていきたいと思いますが、時間の許す限り何かここまでのところでご意見等がございましたらお願いいたします。ご発言の際にはお名前も言っていただければと思います。よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

ぬかが委員：1点。これは事務局への要望になるのですが、先ほどご説明の検討素材についてですが、特殊合計出生率は23区で第2位だけれども、全国平均ではこのようなものだという両方を出していたかと思います。客観的に足立区がどのような状況というのは正確につかむために、例えば先ほど逆に高齢化率が23区では第2位としか出ていないわけです。その23区内ということと併せて、では全国ではどういう位置にいるのかを一緒に出していただきたいと思います。そうすると、全国の中でも足立区はどのぐらいなのかということと、23区でどうなのかという客観的な状況が分かると思いますので、そのことをベースにいろいろ考えていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございます。事務局、よろしいでしょうか。そういった形で資料を揃えていただければと思います。

基本構想担当課長：承知しました。次回第2回基本構想審議会でご説明する際にそのあたりも添えてご説明したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

会長：他にはいかがでしょうか。

岡安委員：先ほど成果というところで、基本構想のキーワードである協働というところの成果が非常に見えにくい説明がありました。次回でかまわないのですが、協働というキーワードに沿った成果、それが著しく目に見えるもの、代表的なものでも提示していただければと思います。

基本構想担当課長：承知いたしました。この件についても次回ご用意したいと思います。

会長：協働というのはなかなか成果が見えにくいかもしれませんがよろしくお願いします。

鈴木けんいち委員：今日検討素材をいただきましたが、次回これに基づいて現状と将来の課題についての意見交換が予定されています。この検討のやり方というのは、分野を決めてやるのでしょうか。それともアットランダムに出し合うのでしょうか。

基本構想担当課長：事務局としましては、第3回目まではフリーに、ただバランス良くやっていただければと思います。本格的な分野別は第4回目ということになりましょうか。専門部会の方で進めていただければと考えております。

会長：今事務局から申し上げましたが、出来るだけバランス良くご意見をいただければとは思いますが、本格的な分野別の議論というのは、各部会の議論を経た上で進めていくということですので、そのような形でお願い出来ればと思います。よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。

北川委員：先ほど生産年齢のお話があったのですが、実際に生産高、収入の面でどうなのかという資料があると考えやすいと思いますので出来ればお願いします。

基本構想担当課長：資料8をご覧ください。所得そのものではないのですが、45ページあたりで細かくしてご用意したいと思います。

会長：他にはいかがでしょうか。

志自岐委員：部会の分け方ですが、最初にメールで来た時に四つの分科会に分かれていたのですが、前からずっとこの四つの分科会の構成になっていたのでしょうか。なぜ四つの分科会に分かれるのかが分からないので教えていただけますか。

会長：前からというのは、この審議会についてということでしょうか。



志自岐委員：いいえ。足立区の基本構想でこの四つの分科会としてやってきたのか、そういうことも含めて教えてください。

基本構想担当課長：前は名前を変えて人づくりとかまちづくりとか、そういったことで数は四つで一緒だったのですが、違う分野で10年前は進めておりました。今回は最近の区政の業務分野が、おおよそ子ども・くらし・まちづくり・行政改革というふうにくくって進められている経緯もございまして、このように進めさせていただきました。四つほど設けまして、より審議を深めていただきたいという考えもございまして、このようにさせていただきました。

会長：今回は少し名称と言うか、くくりを考えて変えたという報告がありましたが、今のご説明でよろしいでしょうか。

志自岐委員：大体は分かるのですが、ただこの四つの分野で足立区の政策全体というのは網羅出来るというふうに考えていらっしゃるのか。あとはこの四つの分野。現在の区政の分野分けということで私は昨年まで区民評価をやっていたので、同じような分野でやっていたのですが、その時もこれで全部区の政策というのは網羅出来るのかなとちょっと疑問があったのでお伺いしました。

基本構想担当課長：区民評価委員をお務めいただきありがとうございました。そのような考えと同じように、分科会を設定させていただきました。主に子ども・くらし・まちづくりでそれぞれの事業。そして全体に関わるようなところで行政改革。そのようなイメージでお考えいただけると幸いです。すべての分野が関わっております。

政策経営部長：この四つの分科会につきましては、現在重点プロジェクトということで足立区が重点的に施策展開をしている大きな四つの分野でございます。その分野で行政のこれからのあり方を考えていただくということで設定しました。もしですね、この四つの分科会に入らないようなものがあるようでしたら、また私どもに言っていただければ割り振りをさせていただきたいと思います。先ほど担当の方からそれぞれの分科会の取り扱う範囲をいくつか例示をさせていただきましたが、もしその四つの分科会に入らないものがあれば、また言っていただければと思います。私どもはその中で網羅されるであろうと考えておりますが、もし何かありましたらご意見をいただければと思います。

会長：各部会でまた議論をされていく中で、そういったちょっと入っていない部分と言うか、加えた方がいい部分等あればまた出していただいて、またそれは事務局とも相談をして、どの部会で扱うのが適切かを含めて調整させていただいて、議論を進め

させていただくということで事務局はよろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

石橋委員：単純な質問で申し訳ないのですが、資料6ですが、くらし分科会・子ども分科会・まちづくり分科会・経営改革分科会、おのこのいわゆる部会のところが、それぞれの部会ごとにまちづくりの方向性の整理となっているのですが、まちづくりのところはそれで分かるのですが、子ども分科会もまちづくりの方向性を、経営改革もまちづくりの方向性の検討なのでしょうか。ここで言うまちづくりというのは違う意味なのでしょうか。

会長：まちづくりというのは全体的なイメージということもあるかと思いますが、ここはそういう意味で考えてよろしいのでしょうか。

基本構想担当課長：今会長がおっしゃっていただいた通り、広い意味でございます。言葉足らずで大変申し訳ございません。確かにまちづくり専門部会のようにハード面のようなまちづくりもございますが、足立区のまちづくりということでそれぞれ、くらし・子どものためのまちづくりで、経営改革もと、そういったところが説明不足で申し訳ありませんでした。それぞれの専門部会ごとの方向性を示していただければと思います。

会長：ありがとうございます。まちづくりという言葉が二つの意味を込めてあるということで、この討議内容等にあるまちづくりというのは、広い意味での足立区のまちづくりという意味合いで、まちづくり専門部会のところはそういった個別のということで、ちょっとややこしいのですが、そういうふうにご理解をいただいて、それぞれの部会で第2回の議論はいただければなということですがよろしいでしょうか。ありがとうございます。

田中充委員：2点あります。一つは今後30年の将来構想を考えるということですので、おそらく区政の主要な指標に関する将来の予測をしておく必要があると思います。区の人口であったり、あるいは高齢化の状況、財政、あるいは生産力みたいなものですか、あるいは土地利用もあるかもしれません。およそ主要な指標について細かくと言うよりも、5年刻みとかそういった形で少し長期の指標を出していただけないというのが1点です。それから2点目は、それに関連して2020年には東京オリンピックがあります。区を取り巻くある種の大きなイベントが行われることになると思うのですが、そういうオリンピックを含めてですね、これから想定されるイベントと言うか、区政に対するインパクトを持つ、そういう予定があるようでしたら、例えばどこかに新しい駅が出来るとかですね、あるいは新線が開通するとか、そういったこともあろうかと思います。そういうことを含めると、ある種の大きな意味でのま

ちづくりの方向がそれで規定されてくると思いますので、ぜひそんなことも整理していただきたいと思います。

会長：ありがとうございます。2点いただきましたが事務局はいかがでしょうか。

基本構想担当課長：ご用意させていただきたいと思います。

会長：2点目について何かありますか。

基本構想担当課長：現時点で想定しているものを次回にご用意したいと考えております。

長谷川委員：映像資料の2ページ目で足立区の基本構想の審議会のスケジュールが示されています。ちょっと専門的な考え方からすると、大体こういう計画を立てる時というのはPDCAをきちんと回さなければいけないと思っています。そのような意味では、この基本構想については、前回の基本構想があって、①でその評価をして、②でその分析から③のプランを作るということかと思っています。ちょっとチェックとアクションの①と②の具体化が、回数は3回ずつやることになっているのですが、分野ごとにやってもなかなかガイド役がいなくてうまく話が、過去の10年間の経緯を踏まえてのやり方ですので難しいのではないかと思います。先ほど事務局からコンサル会社の方も出席されているというお話もありましたので、ぜひこの辺具体的に詳細にコンサルの方も含めて議論が出来、煮詰まるようなそういうやり方を考えていただきたいと思います。

会長：ありがとうございます。専門的な見地からのご助言もいただけるとと思いますが事務局はいかがでしょうか。

基本構想担当課長：ありがとうございます。ご提案をいただきましたので、専門的な分野ということからもいろいろガイド的な役割も果たせますし、また各分野、専門分野の時には私事務局ども事務局で考えておりますのは、各部の関係する区職員、幹部職員も同席させていただき、質問があれば直接、オブザーバー参加にはなりますが、審議を深めていただくようなことも考えております。ご提案ありがとうございます。

会長：コンサルの方々、それから各部署・所管のご助言、あるいはそのご報告等もいただけるということですのでよろしいでしょうか。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

渡辺委員：これは足立区の基本構想について皆さんに議論をいただくわけですが、足

立区は東京都23区の一つの自治体ですから、広域自治のあり方についても、皆さんにある程度知っていただく必要があるかなと思いました。先ほど、2020年東京オリンピックについてご意見がありましたが、足立区の周辺でTASKという足立区と葛飾区と一緒にやっていることがあったりして、区界がどうしても整備が遅れているというところが各地域であります。そうしたことも含めて議論をしていただくことが重要だと思います。

会長：大変重要なお指摘をいただいたと思います。東京都がどう考えているかということもありましょうし、また近隣の自治体の動向ですね。こういったものを見ていかなければいけないだろうというご指摘かと思います。事務局の方でそういったことについていろいろな資料提供、ご意見などいただけたらと思いますがいかがでしょうか。

基本構想担当課長：この件につきましてもご用意していきたいと思います。ありがとうございます。

会長：他にいかがでしょうか。

田中隆一委員：先ほど意見書をご配付いただきましたが、これに限らず今日の会議もそうですが、不明な点というのが後で発生した時にどなたにお伺いするのがよろしいのかというのを教えていただけますか。

基本構想担当課長：こちらでご用意したいと思います。今回はこのような形でお示しをしましたが、次回以降も分かりやすい様式でご用意したいと思います。

会長：疑問点等ございましたら、ぜひ事務局の方にとのことですね。

基本構想担当課長：はい、失礼いたしました。事務局の方にいただければと考えております。

石坂委員：前回の基本構想というのがあると思うのですが、これを検証した上で次の整備に行くわけですが、そのプロセスは次回以降やっていただけたらということでしょうか。

基本構想担当課長：本日は委嘱式などもございまして、時間が十分に取れませんので、次回改めて資料8、また7等でご説明したいと思います。当日また資料をご持参いただければ幸いです。

会長：他にいかがでしょうか。

足立委員：映像資料の15ページのエリアデザインについて。花畑地区、江北地区は大学や医療センターを誘致しておられるわけですが、他に例えば千住エリア・綾瀬エリア、こういったところでは構想は出来ているのでしょうか。

会長：区の取り組みの成果ということでいくつかいただいておりますが、その中でもエリアデザインの点ですね。これについてご質問をいただきましたがいかがでしょうか。

経営戦略推進担当課長：まずご説明の通り、今江北と花畑ということで進めております。他のエリアについても一つひとつ整理をしていながら進めてまいりたいと思っております。現在取り組んでいる場所につきましては、綾瀬エリアが昨年度来いろいろな地元の皆様にはご迷惑を掛けながらいろいろな計画づくりをしております。これは1回白紙とまでは言いませんが、もう一度練り直しということでご議論をさせていただきながらまちづくりに取り組んでまいりたいと思っております。概ね2年ぐらい掛かるかなと思いますが、今年・来年ぐらいを含めて、いろいろな整備が出来ればと考えております。六町エリアにつきましては、今年度・来年度ぐらいをめどに、その計画などを作らせていただき、町の活性化に励んでいきたいと思っております。新規地区の竹の塚・西新井・梅島エリアにつきましては、まだエリアとして指定したばかりですので、これから取り組んでまいりたいと思っています。千住につきましては、少し町の動きを見ながら、動き出した時に一緒に追従と言うか、連動が出来るように準備を進めていくことで進めさせていただきます。千住については、まだまだ白紙という状況でございます。

会長：ただいま足立委員から区の取り組みについてご質問をいただきました。他の委員の皆様、いかがでしょうか。先ほどPDCAというお話がありましたが、今後の計画のあり方に関連すると思いますが、何かこのあたりでご感想、あるいはご意見があればと思いますがいかがでしょうか。例えば学校のことですとか、あるいはビューティフル・ウィンドウズ運動とか、こういったものもございと思いますがいかがでしょうか。

(発言なし)

会長：よろしいでしょうか。ありがとうございます。ではまた資料をよくご覧いただいて、次回の時にご質問・ご意見をいただければと思います。

北川委員：次回の確認をさせていただきたいのですが、資料6によると基本構想検討素材に基づき、現状と将来の課題について意見交換となりますが、今日説明していただいた大量の資料についてまたご説明があった後に、それについて自由討論をすると。それを議長が整理をしつつ次の検討につなげていくという理解でよろしいでしょう

か。

会長：先ほどご質問をいただきましたように、取りあえず委員の皆様からたくさんご意見をいただいて、それらを整理しながら専門部会にお伝えしながら議論を進め、更にそれを全体でもう一度後半でまとめていくと私は理解していますが、事務局はそれでよろしいでしょうか。

（発言なし）

会長：ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。それではですね、本日皆様から最初ということでたくさんご意見をいただきました。次回また皆様からご意見をたくさんいただきながら議論を進めていきたいと思えます。また併せて、先ほど事務局からお願いがございましたが、大変短い期間で申し訳ございませんが、意見書もたくさんいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。特に皆様からなければ、第1回足立区基本構想審議会を終了したいと思えますがよろしいでしょうか。

（発言なし）

会長：それでは最後に事務局から事務連絡をお願いします。

## 5. 事務連絡

基本構想担当課長：事務局から何点かお知らせします。次回の開催は8月5日の水曜日、午前10時から12時まで。会場は本日と同じ区役所南館8階の特別会議室でございます。それから、資料が多くて大変申し訳ございませんでしたが、特に資料7と8、それから映像資料と書かれたものも次回お持ちいただきたいと存じます。本日はお忘れ物のないようお願いいたします。最後にもう一点。お車でお越しの方は出口付近に係員が立ちますので、その旨お伝えください。本日は誠にありがとうございました。

午前11時30分 閉会